

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 クルーズ株式会社

上場取引所 大

コード番号 2138 URL <http://crooz.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小淵 宏二

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 櫻井 英哉

TEL 03-5786-7080

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	998	△15.0	85	239.0	108	432.8	40	538.6
21年3月期第1四半期	1,174	—	25	—	20	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	1,472.88	1,428.07
21年3月期第1四半期	186.83	166.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	2,104	929	44.2	33,904.33
21年3月期	2,647	913	34.5	33,331.05

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 929百万円 21年3月期 913百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	900.00	900.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	900.00	900.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,500	△32.1	250	13.6	240	13.5	106	△0.1	3,867.34

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 第2四半期連結累計期間の連結業績予想については、業績管理を年次のみで行っているため、記載を省略しております。

(参考) 平成21年4月1日に人材事業を担当しておりました、株式会社ベインキャリアジャパンの全ての株式を譲渡しております。よって、平成22年3月期の連結業績予想には、人材事業は含まれておりません。なお、平成21年3月期の人材事業の売上高は1,971百万円、モバイル事業は3,182百万円となっております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名 株式会社ベインキャリージャパン)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 33,937株 21年3月期 33,932株
- ② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 6,528株 21年3月期 6,528株
- ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 27,407株 21年3月期第1四半期 33,835株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。なお、当社の事業計画は通期ベースで作成しており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成していません。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、最近の景気観測においては、昨年9月のリーマン・ショック以降「景気が大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある」とされています。また、最近の経済指標などによれば、企業収益が悪化するもとの、設備投資は大幅に減少し住宅投資も減少しています。

一方で、輸出や生産は大きく落ち込んだ後、持ち直しに転じつつあり公共投資も増加しています。先行きについては「景気は下げ止まりの動きが次第に明確になっていく可能性が高い」とされていますが、GDPの主要指標である個人消費は所得や雇用の不透明感から消費価格の低下傾向がますます鮮明となるなか、節約志向とも相まって総じて弱含みとなっており、景気は予断を許さない引き続き厳しい状況にあります。

しかしながら、国内のモバイルインターネット市場については成長著しく、平成21年6月現在で第三世代携帯電話契約数は1億207万人、加入者全体の約94.1%を占めるまでになり（社団法人電気通信事業者協会調べ）、携帯電話においても高速・大容量のデータ通信環境がほぼ整いつつあります。

このような中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度に引き続き集客力向上に努めた結果、主要な公式コンテンツが順調に売上を伸ばしました。また、無料ブログ作成サイト「CROOZブログ」や無料ゲームSNS「プチゲーフレズ」といった、無料コンテンツで集めた会員を、有料課金コンテンツへ誘導したことにより収益拡大が加速しましたが、平成21年4月1日に人材事業を担当しておりました、株式会社ベインキャリアジャパン（以下「VCJ」という。）の全ての株式を譲渡したことによるモバイル事業のみの単一セグメントとなったことにより、998,079千円（前年同四半期比15.0%減）となりました。

なお、既存のモバイル事業につきましては、前年同四半期比48.2%増（前第1四半期連結累計期間673,429千円）の結果となっております。

利益面におきましては、継続して積極的かつ効率的な広告宣伝の実施をし、VCJ株式を譲渡したこと等により売上総利益率が向上（前年同四半期34.2%、当第1四半期60.2%）したことに伴い、営業利益は85,934千円（同239.0%増）となり、経常利益は主に保険解約返戻金24,748千円が生じた事により108,334千円（同432.8%増）、税金等調整前四半期純利益はソフトウェア等の除却損19,866千円及び関係会社売却損11,357千円が生じた事により77,110千円（同280.2%増）、四半期純利益は法人税等合計36,742千円により40,368千円（同538.6%増）の結果となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期末の資産合計は2,104,100千円（前年同四半期比20.5%減）となりました。

主な要因は、短期借入金の返済による現預金の減少200,000千円、VCJ株式の譲渡による売掛金の減少227,111千円及びそれに伴う現預金の減少91,995千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期末の負債合計は1,174,817千円（同32.3%減）となりました。

主な要因は、短期借入金の減少200,000千円、VCJ株式の譲渡による買掛金の減少220,372千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期末の純資産合計は929,283千円（同1.7%増）となりました。

主な要因は、利益剰余金の増加15,704千円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末と比較して439,135千円減少し、当四半期連結会計期間末には581,887千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は6,246千円（前年同四半期は10,130千円の使用）となりました。

主な収入要因は、税金等調整前当期純利益77,110千円、減価償却費等の非資金損益項目53,616千円によるものであり、主な支出要因としましては、仕入債務の減少額127,038千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は220,893千円（前年同四半期は146,529千円の使用）となりました。

主な支出要因としましては、ソフトウェア開発等に伴う無形固定資産の取得による支出113,414千円、事務所移転に伴う敷金及び保証金の差入による支出79,212千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は224,488千円（前年同四半期は59,102千円の使用）となりました。

収入要因は、全額がストック・オプション行使による新株発行174千円によるものであり、主な支出要因としましては、短期借入金の返済による支出200,000千円、配当金の支払額24,663千円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成21年5月7日に公表しました業績見通しの数字に変更はありません。

なお、当社グループは年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期連結累計期間予想の記載を省略しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
（主要な関係会社の異動）

連結除外：株式会社ベインキャリージャパン

前期末において当社の連結子会社であった株式会社ベインキャリージャパンの全ての株式を、平成21年4月1日付で譲渡したことにより、連結の範囲から除外しております。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	581,887	1,021,022
売掛金	697,826	903,715
商品	1,579	527
仕掛品	11,251	13,866
その他	60,432	31,509
貸倒引当金	△9,271	△7,525
流動資産合計	1,343,705	1,963,115
固定資産		
有形固定資産	37,944	45,144
無形固定資産		
ソフトウェア	546,733	528,090
その他	920	950
無形固定資産合計	547,654	529,041
投資その他の資産		
敷金及び保証金	174,336	103,942
その他	460	6,667
投資その他の資産合計	174,796	110,610
固定資産合計	760,395	684,795
資産合計	2,104,100	2,647,911
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,135	685,546
短期借入金	400,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	43,200	—
未払金	152,748	176,168
未払法人税等	44,875	24,525
その他	39,057	77,066
流動負債合計	1,018,017	1,563,307
固定負債		
長期借入金	156,800	171,200
固定負債合計	156,800	171,200
負債合計	1,174,817	1,734,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	320,022	319,935
資本剰余金	310,022	309,935
利益剰余金	588,857	573,153
自己株式	△289,619	△289,619
株主資本合計	929,283	913,404
純資産合計	929,283	913,404
負債純資産合計	2,104,100	2,647,911

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,174,735	998,079
売上原価	772,548	397,429
売上総利益	402,186	600,650
販売費及び一般管理費	376,834	514,715
営業利益	25,352	85,934
営業外収益		
受取利息	2	91
保険解約返戻金	—	24,748
為替差益	5	—
その他	3	48
営業外収益合計	11	24,889
営業外費用		
支払利息	20	2,485
株式交付費	8	0
貸倒引当金繰入額	5,000	—
その他	—	3
営業外費用合計	5,029	2,489
経常利益	20,334	108,334
特別損失		
固定資産除却損	55	19,866
関係会社株式売却損	—	11,357
特別損失合計	55	31,224
税金等調整前四半期純利益	20,279	77,110
法人税、住民税及び事業税	9,989	43,751
法人税等調整額	3,968	△7,009
法人税等合計	13,957	36,742
四半期純利益	6,321	40,368

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,279	77,110
減価償却費	29,747	51,870
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,421	1,746
受取利息及び受取配当金	△2	△91
支払利息	20	2,485
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	11,357
株式交付費	8	0
固定資産除却損	55	19,866
売上債権の増減額 (△は増加)	19,309	△21,222
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△10,704	2,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29	△127,038
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	2,339
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,424	7,845
その他の資産の増減額 (△は増加)	295	532
その他の負債の増減額 (△は減少)	△6,536	△5,424
小計	55,439	23,826
利息及び配当金の受取額	2	61
利息の支払額	△20	△2,256
法人税等の支払額	△65,551	△15,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,130	6,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△284	△150
無形固定資産の取得による支出	△126,078	△113,414
貸付けによる支出	△20,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△167	△79,212
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△28,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,529	△220,893
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△200,000
株式の発行による収入	1,741	174
配当金の支払額	△60,843	△24,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,102	△224,488
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△215,762	△439,135
現金及び現金同等物の期首残高	773,351	1,021,022
現金及び現金同等物の四半期末残高	557,588	581,887

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	モバイル事業 (千円)	人材事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	673,429	501,305	1,174,735	—	1,174,735
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	243	39,129	39,373	(39,373)	—
計	673,673	540,434	1,214,108	(39,373)	1,174,735
営業利益	96,968	10,959	107,927	(82,575)	25,352

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

当社及び連結子会社の事業は、平成21年4月1日付で人材事業を担当しておりました株式会社ベインキャリージャパンの全ての株式を譲渡しているため、モバイル事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。